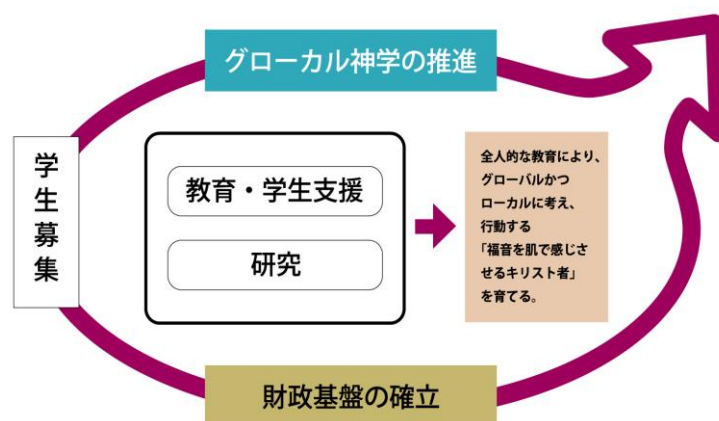


# 学校法人東京キリスト教学園 東京基督教大学

## 第4期中期計画（2023年度～2027年度）

「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を大学改革のコンセプトとして掲げた第3期中期計画（2018年度～2022年度）では、一つの結実として神学部の2学科を再編し、2021年度より総合神学科をスタートしました。第二次「神の国に仕えるプロジェクト」（長期計画）をふまえた第4期中期計画においては、全体の方針として「グローバル神学の推進」を掲げ、教育・学生支援、研究、学生募集の各基本方針と目標を定めます。将来に向けて持続可能な財政基盤の確立は必須の課題です。

第4期中期計画のイメージ図



### グローバル神学の推進

神学部総合神学科、大学院神学研究科、教会音楽専攻科では、全人的 (Holistic) な教育によりグローバルかつローカルに考え行動する「福音を肌で感じさせるキリスト者」を育て、教会と社会に仕える教会教職者と信徒の献身者を輩出することをめざしています。そのために、大学改革のコンセプト「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を継承し、総合神学科の5つの専攻領域（教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養）を「実践的神学教育」の観点で統合していく「グローバル神学」を推進します。これは、学生達が世界（グローバル）や地域社会（ローカル）における課題（破れ口）を察知する感性を培い、神の国の広がりを経験し、理解を深め、実践力を高める取り組みです。グローバル神学の推進が学生募集と財政基盤の確立に寄与し、財政基盤の確立が教育・学生支援、研究の土台となるサイクルを築きます。

## 教育・学生支援

### <基本方針>

総合神学科では、キリスト者としての霊性と社会人基礎力を涵養し、様々な文化・言語的背景をもつ学生が共に学ぶグローバルな教育環境を整えていきます。研究科と専攻科では、教会教職者等の高度専門職業人と研究者を育成し、幅広く継続教育を提供します。

### <目標>

- ①今日の教会と社会の課題に応える教育と霊的形成を進める。
- ②日本語トラック生には英語での、英語トラック生には日本語での授業履修を奨励し、グローバルな環境での学びと寮生活の優位性を高める。
- ③地域や海外での交流やインターンシップを増やし、社会の現場で鍛えられる環境を作るとともに、キリスト者としての就職先をさらに開拓する。
- ④留学生の日本語能力の向上と日本語能力試験 N2レベルの留学生受け入れのための仕組みを整備する。
- ⑤オンライン教育により TCU の教育提供の可能性を拡充し、大学院では修士課程のオンラインでの提供をめざす。
- ⑥今日の日本における教会形成と宣教に寄与する教会音楽文化の創造につながる教育を提供する。

## 研究

### <基本方針>

公共福祉、信徒の神学、葬制研究、ユースミニストリー、教会音楽等、グローバル神学に関わる研究活動に力を入れ、それらと連動した教育及び地域連携を推進します。これらを限られた資源のなかで有機的・効率的に行うため、附属研究機関の組織再編を検討・実施するとともに、外部研究費の獲得に一層力を入れます。アジアをはじめとする国際的な神学研究の連携を促進します。また、教会と社会が直面する課題に福音主義神学研究からの発信を行います。

### <目標>

- ①グローバル神学に関する研究活動、及びその成果を用いた地域連携を推進する。
- ②大学全体としての研究活動を促進するための有機的な研究組織へ再編する。
- ③外部研究費の獲得とそのため環境整備を行う。
- ④アジア地域をはじめとする国際的神学研究交流を促進する。
- ⑤教会と社会の課題に応える福音主義神学研究からの発信を行う。

## 学生募集

### <基本方針>

ポストコロナの教会と世界のために、キリストへの献身を表明する人を、教派を超えて日本と世界から集めます。総合神学科、大学院、専攻科の教育と「グローバル神学」推進の成果を学生募集につなげ、ステークホルダーとの関係を広げつつ、全学を挙げた祈りと取り組みにより入学定員充足を達成します。

### <目標>

- ①毎年、入学／収容定員充足率100%+ $\alpha$ を達成し、2027年には学生230名、入学者82名をめざす。
- ②教会教職課程の募集では教会・教団教派と連携を深め、教会教職者を志す人に訴求する学生募集を行う。
- ③高大接続とキャリア教育の観点から、学校や宣教団体との連携を拡充する。
- ④アドミッション・ポリシーと教育目標にふさわしく入試と奨学金制度を整える。
- ⑤ユースミニストリー、キリスト教福祉、教会音楽、保育などの分野におけるTCUの教育の認知度を高める。

## 財政基盤の確立

### <基本方針>

建学の精神に立ち、「福音を肌で感じさせるキリスト者」を世界に送り出し続けるべく取り組む「グローバル神学の推進」には、それを下支えし、後押しする財政的裏付けが必須であるとの認識に立ち、いまだ十分とは言えない財政的諸課題の洗い出しを徹底的に行い、資金流出の続く財政構造の抜本的な建て直しをはかり、将来に向けて持続可能な財政基盤の確立をめざします。

### <目標>

- ①経営責任の中核を担う常任理事会のもと、法人事務局を強化し、財政的諸課題の徹底的な洗い出しとその克服のために必要な実務的対応を進める。
- ②収入の部：学納金、寄付金〔献金〕、補助金、資金運用、事業収入等の増収のため、「教育・学生支援」、「研究」、「学生募集」の各分野と連携し、具体的展開を進める（第二次神プロの目標：2027年に学生数230名相当、献金1億2千万円）。加えて新規収益事業に取り組む。
- ③支出の部：人件費、諸経費等の適切な管理とさらなる圧縮に努め、特に学園経営に適切な人事計画の立案、実施を進める。
- ④上記②と③の達成により、2027年度に学生数230名相当収入での資金収支均衡を実現し、その先に向けて持続可能なさらなる財政基盤の確立をめざす。

⑤上記④の実現を期すと同時に、年度毎の期末保有資金額を注視しつつ、実状に即したプラン見直しを随時進める。

策定：大学運営会議  
(2022年6月28日理事会決定)